

2002年9月13日 石垣島オモト山麓

天候は晴れ。空港で待ってくださっていた金子先生の軽自動車でただちにオモト山麓へと向かう。ここ数年継続的に秋に見られているシロウラナミシジミがすでに発生している現場に案内してくださるといふ。1997年9月に一度自転車で来たことのある場所へと着く。右手にもはや手入れをやめた様相のウコン畑があり、道路との境界域に連なる適度な木々の繁みがチョウの遊び場となっていて、初めてみるシロウラナミシジミがきれいな水色を輝かせながら次々と場所を変えて飛ぶ。思った以上に大きいチョウだ。いつでもネットインできそうなのでデジカメで狙ってみるが、ズームアップしているあいだにすぐ別の場所へと転飛する忙しい動き。何枚かシャッターを切るがフォーカスが甘くて絵にならない。仕方なくビデオカメラに切り替えるが、それでも満足ゆく映像が撮れないままネットインへと方針変更。ネットの中でも激しい動き方で、きれいな水色を静止画像として切り出せるタイミングは見出せず。3♂をゲットしてオモト万勢山林道の探索に移行する。



Sep. 13, 2002 石垣島  
シロウラナミシジミ♂



Sep. 17, 2002 石垣島  
シロウラナミシジミ♂

2002年9月16日 西表島白浜

白浜旧道を経てシロウラナミシジミ発生地に向かう。旧道一帯にまったくチョウのいないのが意外。到達した白浜地区でようやくタテハモドキやウラナミシロチョウ、ウスキシロチョウをみる。墓場近くの湿地帯には香りのいいシュシャクが咲いており、この純白の花で発生するシロウラナミシジミが、ブッシュをたたいて驚かす方法で初めてチラチラと飛んで見せてくれるが、それも1、2頭を目撃だけで、石垣島の発生地に比べるとあまりに少なく採集はしない。



シロウラナミシジミ♀(裏面)

2003年10月30日 石垣島オモト山麓

この草むらから100mほど上れば三叉路で、まずは直進して峠を越え、シロウラナミシジミを求めてウコン畑のある地域へと下りきる。一昨年、金子先生に教えていただいた場所は、ウコン栽培がさらにほったらかしとなっていて荒れ放題となり、あきらかにシロウラナミシジミは激減している模様。畑の境界を形成するブッシュを叩いて飛び出す個体から新鮮な♂を2頭だけ捕獲し、明らかに♀とわかる個体には手をつけない。この垣根にはハイビスカスの赤い大輪もみられるがツマベニチョウはやはり姿をみせない。

2004年9月18日 石垣島オモト山麓

レンタサイクルで30分ほど要してたどり着いたポイントは朝露が残る状況。シロウラナミシジミが飛ぶにはまだ早すぎるように思われたが、少しずつ気温があがるにつれて、台風の影響で飛び散った枯葉が一面を覆っている路面の何かに惹かれるようにチラチラときれいな淡い水色の光沢を輝かせる♂が飛び始める。その何かはどうやら路面に落とされて生乾きとなっている鳥の糞らしい。カメラでねらうも開翅行動はとってくれないためカメラアングルが厳しすぎる。地面すれすれに少し飛んでは静止するという行動をうまくフォローできれば、きれいな水色の輝きを連続シャッターで撮りこめる計算だが、結局は、路傍のセンダングサ葉上で一休みというところをキャッチしてよしとする。このとき観察できたのは2-3頭のオスだけでどうやら今の時期は発生谷間だと思われる。

